

## 背景・課題

- ・地域の伝統行事・民俗芸能等については、地域に資するものとして、経済面で大きな効果をもたらす役割が期待されている。
- ・一方、過疎化や少子高齢化等の社会状況を背景として、伝統行事・民俗芸能等の担い手が減少し、行事等の継承が困難となっている。

## 事業内容

経済効果に資する取組等を促し、地域の伝統行事・民俗芸能等の継承及び振興を図ることにより、地域経済を活性化し、地域振興を推進

(件数・単価) 約100件×約400万円  
(事業開始年度) 令和3年度

### 地方公共団体

域内の事業をとりまとめて、計画的な取組を実施

### 補助事業者

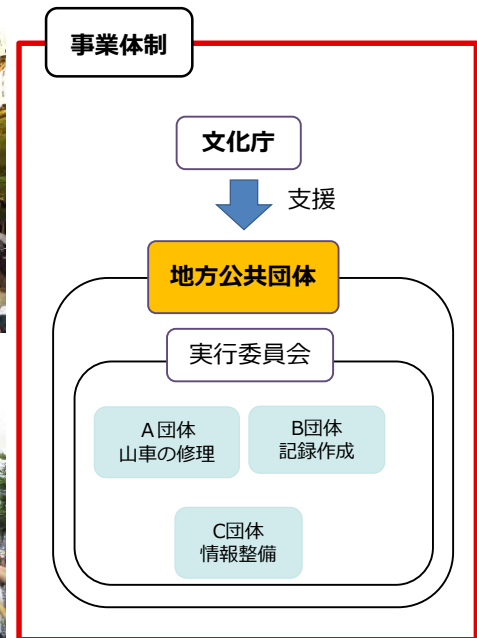
文化遺産の保護団体等で構成される実行委員会

### 補助対象事業

- 用具等整備  
(山車や衣装等の修理、新調等を行う事業)
- 後継者養成  
(保存会会員等を対象とした技術練磨等の事業)
- 記録作成・情報整備  
(記録の作成・発信や映像のデジタル化やライブ配信等を行う事業) 等



### 事業体制



### アウトプット(活動目標)

用具等整備、後継者養成、  
記録作成・情報整備 約100事業

### アウトカム(成果目標)

地域の文化遺産を核としたコミュニティの活性化

### インパクト(国民・社会への影響)、目指すべき姿

地域活性化を推進するとともに、地域社会の連携が強化され、誰もが繋がりがあえる地域づくりや絆の強い社会を実現